

## 御坂峠

2015年8月15日（土）

河口湖畔に連なる御坂山塊の黒岳（1793m）が目的で、布目さん、岡部さん、熊本が参加した。



前日の関東地方は土砂降りの雨であったが、幸いにも本日は晴れていた。  
しかし富士山駅のホームから綺麗に見えるハズの富士山は雲の中で、ほんの少し稜線が見えるだけだった。



河口湖駅に 8:43 に到着した



9:00 発の天下茶屋行のバスを待つ



20 分程で、三つ峠入口で下車する。トンネル入口前で右折すると御坂峠へ標識があった。





準備を整えて、まずは御坂峠まで 90 分の登り、更に黒岳（1793m）登頂を目指しスタートした。（9:37）



このコースを利用する登山者は少ないようで、登山道に草が茂っていた。



5 分程緩やかな登りを進むと「河口の森」の立看板があり地図が出ていた。

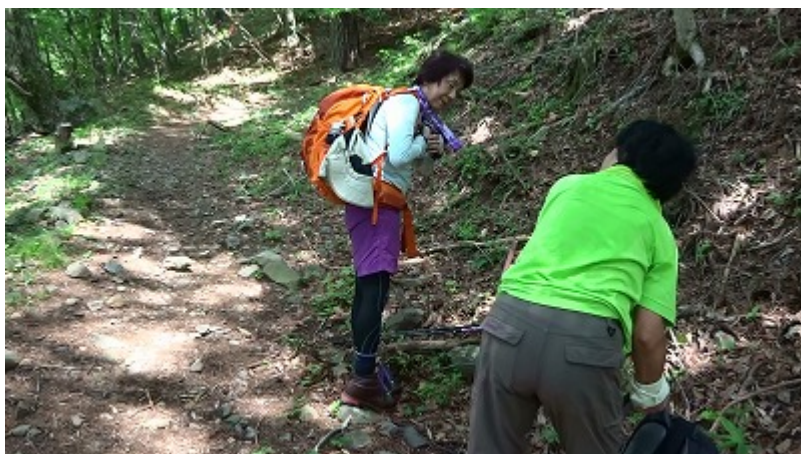


更に進むと大きな石がいくつも道を塞いでいた





ブナやミズナラの樹林帯に入る。



30分で標高 200m を稼ぎ、最初の休憩。



暑いが時々谷側からくる微風が冷たく癒される。



このコースは、そんなに標高が高いわけではないが、多くの高山植物やキノコに遭遇し楽しい。





1 時間を過ぎると傾斜がきつくなり汗がしたたり落ちる。



新緑のような瑞々しい若緑が美しい。



11:05 登山開始から、予定通り 90 分で、御坂峠 1525m に到着した。  
ここまで標高約 500m を稼いだ。  
誰にも出会わなかったが、峠には男性 2 名のパーティーがいた。



当初はここで昼食にする予定であったが、まだ 11 時であり、黒岳山頂を目指すことにした。





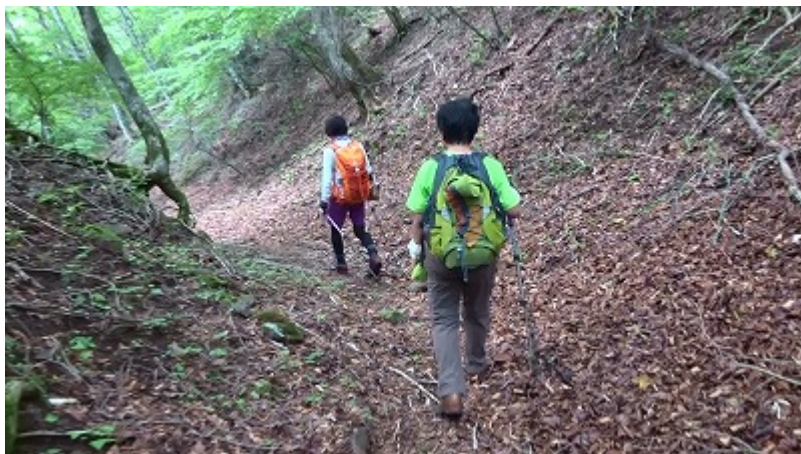
この標識に従って黒岳の方向に進んだつもりが、大失態であった。



廃屋となった御坂茶屋を横に見ながら・・・



広い登山道に入った。



峠から稜線歩きのはずが、どんどん下っていった。





道を間違えたと疑い始めたところ、前方に「子持石」の標識があり、地図で確認したが載っていなかった。



20 分程下ったところで、完全に道を誤ったと判断し、御坂峠まで戻ることにした。



途中の立看に地図があり、鎌倉街道を河口湖と反対側に下っていたことが分かった。



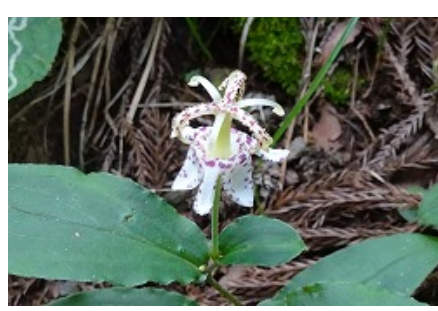
12 時に御坂峠に戻った。  
確認したところ、この廃屋茶屋に沿って直ぐ右に登山道があったが草がボウボウに生えて見過ごしやすい。



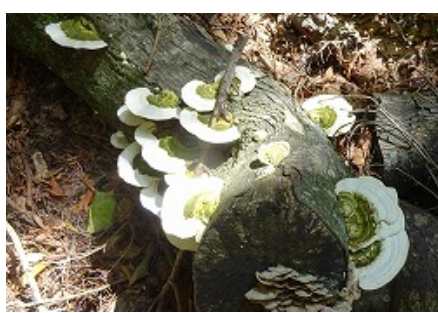
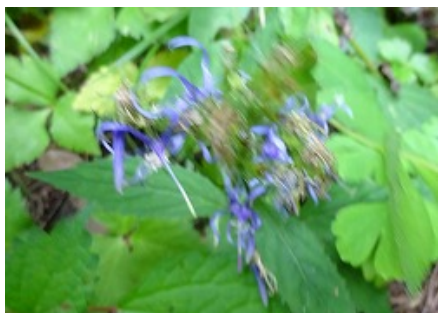
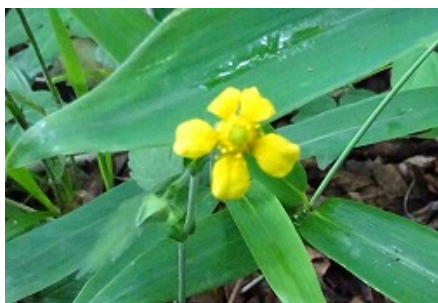


御坂峠で昼食を取り、今後の予定を検討したが、これから黒岳登頂を目指し当初計画を実施するには新宿帰着が 22 時を過ぎる可能性もあり、今回は断念し、登山口の三つ峠入口に戻ることにした。

このコースには高山植物とキノコ類が多く、下記にまとめた









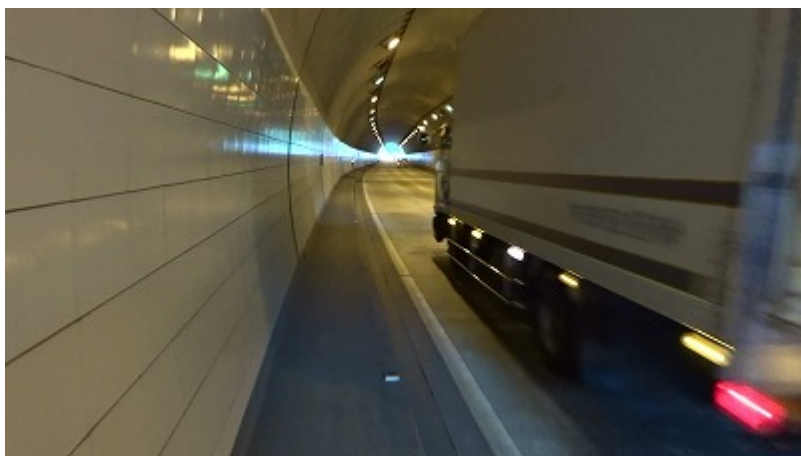


下りは休憩を取らずに一気に登山口の三つ峠入口まで下った。(13:17)



勿論、バスの最終は午前 11 時で午後は一便もない。

河口湖畔の河口局バス停まで舗装道路を歩く必要がある。



途中長いトンネルを2回通り、乗用車やトラックが猛スピードで通り抜け、歩道があるにせよ暗くて怖かった。

約 90 近く舗装道路歩き、足が棒になってしまった。



河口湖美術館まで歩き、ここから久保田一竹記念館まで3停留所をバスに乗った。





一竹記念館の近くでは紅葉が綺麗に色づいていた。  
ここはもう、秋の気配だ。



歩き疲れて日帰り温泉「天水」に 15 時に到着。  
汗と埃を洗い流し、広間で休憩



約 1 時間休憩し 16 時に温泉を後に、



温泉で疲れが取れたか帰りはさわやかな笑顔でした。





久保田一岳記念館バス停のモミジも真赤に色づいていました。



河口湖からの「特急ふじっこ」は中国の観光客で満席でしたが、大月からの立川行はガラガラでユッタリした気分で帰路に着くことができました。

お疲れ様でした。